

高等学校古典古文分野において本文の内容を正確に理解する力を育成する指導の工夫 —既習事項の確認、活用及び定着を促す「学び合い」と個人の活動を通して—

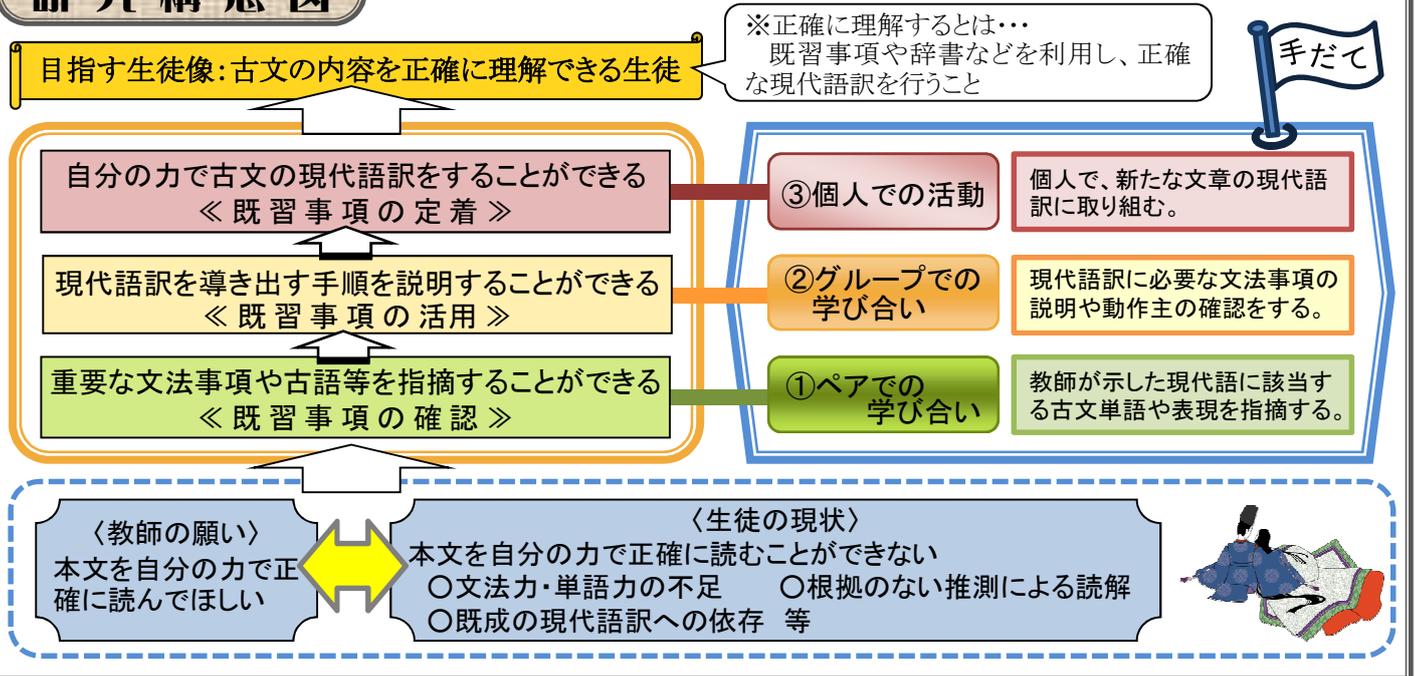
国語班 加賀谷 道子(高等学校教諭)

主題設定の理由

- 古典の学習に関心のある生徒は多いが、現代語訳を自分の力で行うことが苦手な生徒が多い。
- 「平成24年度県立学校教育指導の重点」では、日本の文化と伝統に対する関心や理解を深める指導のポイントとして「伝統的な言語文化に親しむ態度」を育て、「豊かな言語感覚を養う」ことを挙げている。
- 「学び合い」活動を通して文法力・語彙力を向上させ、自らの力で本文の内容を正確に理解する力を身に付けてほしい。

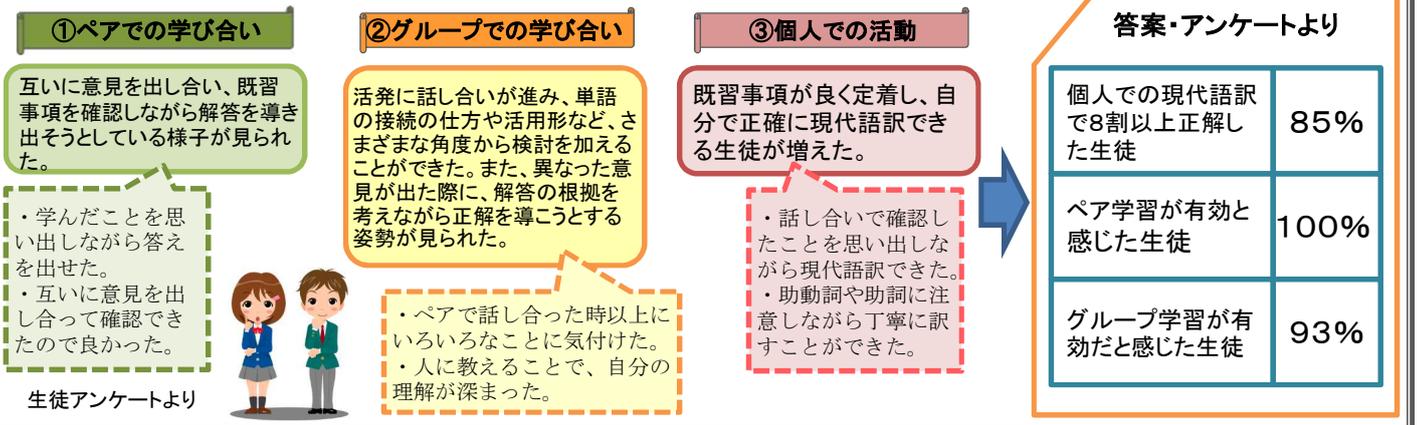


研究構想図



実践と結果

教材『源氏物語』若紫 配当時間: 7時間



成果と課題



- 「学び合い」活動により、単語や文脈の理解も深まり、文法力や語彙力の向上につながった。
- 自らの力で現代語訳を試みる活動では、「学び合い」活動によって習得した事柄を生かすことで、正確に現代語訳する力を育成することができた。
- 「学び合い」活動では、全員による意見交流によって理解を深めるということが困難な場面があった。
- まとまった分量の現代語訳は難しいところもあったので、文脈や単語の正確な理解をさらに高める必要がある。